

令和6年6月

## 令和6年3月卒業・修了予定者アンケート調査集計結果報告書

北海道医療大学  
点検・評価全学審議会

点検・評価全学審議会は、内部質保証システムを策定し、多方面からの視点により点検・評価を実施することとし、本学の教育理念・教育目標を達成するための大学づくりを目指している。

その一環として、卒業・修了予定の学生に対し、教育の質保証の観点から本学の教育により修得した知識や能力の達成度などについて評価・意見を聴取するため、アンケート調査を実施した。協力いただいた学生各位に対し厚くお礼を申し上げますと共に、その集計結果をホームページに公表することとした。

なお、この調査結果を今後の本学における教育のあり方についての点検・評価の基礎資料として活用することとする。

### 【令和6年3月卒業・修了予定者アンケート調査】

- ・集計結果報告書
- ・アンケート調査票

## 令和6年3月卒業・修了予定者アンケート調査集計結果

目的：卒業・修了予定者アンケート調査は、教育の質保証の視点から学部卒業生に対して学士課程における学習成果、大学院修了生に対して修士または博士課程における知識・能力の修得度合いについて調査し、教育目標・教育プログラムの教育効果の検証に資することを目的とする。

調査方法：令和5年3月卒業生・修了生を対象にカリキュラムポリシー、ディプロマポリシーおよび修得すべき知識・能力について、別紙アンケート調査を実施した。

調査期間：令和5年12月から令和6年3月までの期間に学部（学科）・研究科別に実施した。

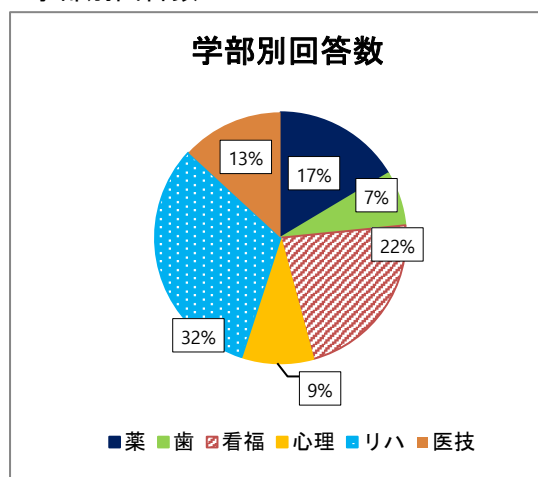
回答率：大学（学部・学科）の回答率は76.3%、大学院の回答率は61.4%

### I. 大学・学部

#### ■回答率

学部・学科		卒業生数（人）	回答者数（人）	回答率（%）
薬学部	薬学科	157	80	51.0%
歯学部	歯学科	34	34	100.0%
看護福祉学部	看護学科	114	83	72.8%
	福祉マネジメント学科	43	26	60.5%
心理科学部	臨床心理学科	57	45	78.9%
リハビリテーション科学部	理学療法学科	82	75	91.5%
	作業療法学科	48	47	97.9%
	言語聴覚療法学科	38	33	86.8%
医療技術学部	臨床検査学科	61	64	105.0%
大学全体		643	634	76.3%

#### ■学部別回答数



## 1. 調査概要

北海道医療大学の卒業予定者を対象とし、本学の学士課程（学部）教育の改善に役立てることを目的として実施。

令和5年度卒業生対象の調査より、各学部の教育理念・目的・目標およびこれらに基づき定めている「学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」の達成度を測る内容へと変更した。

### ■学位授与の方針に基づく自己評価

○選択肢「4. 身についた 3. 概ね身についた 2. あまり身につかなかった 1. 身につかなかった」

#### <薬学部>

項目名	回答 4	回答 3	回答 2	回答 1	無回答	3・4 回答率
A. 医療人として求められる高い倫理観	43	35	1	1	0	97.5%
B. 関係法令の理解	40	37	2	1	0	96.3%
C. 他者を思いやる豊かな人間性	45	31	1	1	2	97.4%
D. 有効で安全な薬物諜報の実践、ならびに人々の健康な生活に寄与するために必要な、基礎から応用前の薬学知識	45	33	1	1	0	97.5%
E. 多種職が連携する医療チームに積極的に参画し、地域のおよび国際的視野を持つ薬剤師としてふさわしい情報収集・評価・提供能力	44	34	1	1	0	97.5%
F. 医療の進歩に対応できる柔軟性	41	35	3	1	0	95.0%
G. 臨床における問題点を発見・解決する能力	41	35	2	2	0	95.0%
H. 後進の育成に努め、かつ生涯にわたって常に学び続ける姿勢と意欲	44	33	3	0	0	96.3%

<歯学部>

項目名	回答 4	回答 3	回答 2	回答 1	無回答	3・4 回答率
A. 人々のライフステージに応じた疾患の予防、診断および治療を実践するために基本的な医学、歯科医学、福祉の知識および歯科保健と歯科医療の技術	18	15	1	0	0	97.1%
B. 「患者中心の医療」を提供するために必要な高い倫理観	17	16	1	0	0	97.1%
C. 他者を思いやる豊かな人間性	17	14	3	0	0	91.2%
D. 優れたコミュニケーション能力	15	16	1	1	1	93.9%
E. 疾患の予防、診断および治療の新たなニーズに対応できるよう生涯にわたって自己研鑽し、継続して自己の専門領域を発展させる能力	20	13	1	0	0	97.1%
F. 多種職（保健・医療・福祉）と連携・協力しながら歯科医師の専門性を発揮し、患者中心の安全な医療を実践できる力	17	15	1	1	0	94.1%
G. 歯科医療の専門家として、地域的および国際的な視野で活躍できる能力	18	11	3	2	0	85.3%

<看護福祉学部・看護学科>

項目名	回答 4	回答 3	回答 2	回答 1	無回答	3・4 回答率
A. 人間の生命および個人の尊重を基本とする高い倫理観	55	28	0	0	0	100.0%
B. 豊かな人間性	54	29	0	0	0	100.0%
C. 看護専門職に必要な知識・技術	54	29	0	0	0	100.0%
D. 健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力	54	29	0	0	0	100.0%
E. 社会環境の変化や保健・医療・福祉の新たなニーズに対応できるよう自己研鑽する力	53	29	1	0	0	98.8%
F. 自らの専門領域において自律的・創造的に実践する能力	46	36	1	0	0	98.8%
G. 保健・医療・福祉をはじめ、人間に関する様々な領域の人々と連携・協働できる能力	60	23	0	0	0	100.0%
H. 多様な文化や価値観を尊重して地域社会に貢献できる能力	57	26	0	0	0	100.0%

<看護福祉学部・福祉マネジメント学科>

項目名	回答 4	回答 3	回答 2	回答 1	無回答	3・4 回答率
A. 人間の生命および個人の尊重を基本とする高い倫理観	10	16	0	0	0	100.0%
B. 豊かな人間性	7	18	1	0	0	96.2%
C. 福祉専門職に必要な知識・技術	9	16	0	0	1	100.0%
D. 健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力	4	22	0	0	0	100.0%
E. 社会環境の変化や保健・医療・福祉の新たなニーズに対応できるよう自己研鑽する力	3	22	1	0	0	96.2%
F. 自らの専門領域において自律的・創造的に実践する能力	2	24	0	0	0	100.0%
G. 保健・医療・福祉をはじめ、人間に関する様々な領域の人々と連携・協働できる能力	4	22	0	0	0	100.0%
H. 多様な文化や価値観を尊重して地域社会に貢献できる能力	9	16	1	0	0	96.2%

<心理科学部・臨床心理学科>

項目名	回答 4	回答 3	回答 2	回答 1	無回答	3・4 回答率
A. 心の問題にかかわる職業人として必要な幅広い教養と専門的知識	1	14	1	0	0	97.8%
B. 社会の変化、科学技術の進展に合わせて、教養と専門性を維持向上させる能力	27	16	2	0	0	95.6%
C. 社会の様々な分野において、心の問題を評価し、それを適切に判断し援助できる基礎的技能	30	14	1	0	0	97.8%

＜リハビリテーション科学部・理学療法学科＞

項目名	回答 4	回答 3	回答 2	回答 1	無回答	3・4 回答率
A. 生命の尊厳と人権の尊重を基本とした幅広い教養	26	47	2	0	0	97.3%
B. 豊かな人間性	22	50	3	0	0	96.0%
C. 高い倫理観	26	45	4	0	0	94.7%
D. 優れたコミュニケーション能力	22	45	8	0	0	89.3%
E. 最新のリハビリテーション科学を理解し、保健・医療・福祉をはじめとするさまざまな分野において科学的根拠を有する専門技術を提供できる能力	22	52	1	0	0	98.7%
F. 理学療法士として必要な科学的知識や技術	27	47	1	0	0	98.7%
G. 心身に障害を有する人、障害の発生が予測される人、さらにはそれらの人々が営む生活に対して、地域包括ケアの視点から適切に対処できる実践的能力	25	47	2	0	1	97.3%
H. 関係職種と連携し、質の高いチーム医療の実践的能力	23	47	5	0	0	93.3%
I. 国際的および地域的視野を有するリハビリテーションの専門家として活躍できる能力	18	40	17	0	0	77.3%
J. 社会の変化や科学技術の進歩に対応できるよう、常に専門領域の検証と、積極的な自己研鑽および理学療法科学の開発を実践できる能力	17	48	10	0	0	86.7%

＜リハビリテーション科学部・作業療法学科＞

項目名	回答 4	回答 3	回答 2	回答 1	無回答	3・4 回答率
A. 生命の尊厳と人権の尊重を基本とした幅広い教養	10	35	2	0	0	95.7%
B. 豊かな人間性	14	27	6	0	0	87.2%
C. 高い倫理観	10	31	5	1	0	87.2%
D. 優れたコミュニケーション能力	10	32	5	0	0	89.4%
E. 最新のリハビリテーション科学を理解し、保健・医療・福祉をはじめとするさまざまな分野において科学的根拠を有する専門技術を提供できる能力	12	32	3	0	0	93.6%
F. 理学療法士として必要な科学的知識や技術	20	25	2	0	0	95.7%
G. 心身に障害を有する人、障害の発生が予測される人、さらにはそれらの人々が営む生活に対して、地域包括ケアの視点から適切に対処できる実践的能力	11	31	5	0	0	89.4%
H. 関係職種と連携し、質の高いチーム医療の実践的能力	6	25	15	0	0	67.4%
I. 国際的および地域的視野を有するリハビリテーションの専門家として活躍できる能力	4	26	16	1	0	63.8%
J. 社会の変化や科学技術の進歩に対応できるよう、常に専門領域の検証と、積極的な自己研鑽および理学療法科学の開発を実践できる能力	8	25	12	2	0	70.2%

<リハビリテーション科学部・言語聴覚療法学科>

項目名	回答 4	回答 3	回答 2	回答 1	無回答	3・4 回答率
A. 生命の尊厳と人権の尊重を基本とした幅広い教養	18	14	1	0	0	97.0%
B. 豊かな人間性	18	13	2	0	0	93.9%
C. 高い倫理観	17	16	0	0	0	100.0%
D. 優れたコミュニケーション能力	11	20	1	0	1	96.9%
E. 最新のリハビリテーション科学を理解し、保健・医療・福祉をはじめとするさまざまな分野において科学的根拠を有する専門技術を提供できる能力	14	19	0	0	0	100.0%
F. 理学療法士として必要な科学的知識や技術	16	17	0	0	0	100.0%
G. 心身に障害を有する人、障害の発生が予測される人、さらにはそれらの人々が営む生活に対して、地域包括ケアの視点から適切に対処できる実践的能力	10	22	1	0	0	97.0%
H. 関係職種と連携し、質の高いチーム医療の実践的能力	12	21	0	0	0	100.0%
I. 国際的および地域的視野を有するリハビリテーションの専門家として活躍できる能力	9	19	4	1	0	84.8%
J. 社会の変化や科学技術の進歩に対応できるよう、常に専門領域の検証と、積極的な自己研鑽および理学療法科学の開発を実践できる能力	9	20	4	0	0	87.9%

<医療技術学部・臨床検査学科>

項目名	回答 4	回答 3	回答 2	回答 1	無回答	3・4 回答率
A. 生命の尊重を基盤とした豊かな人間性	36	27	1	0	0	98.4%
B. 幅広い教養	35	27	2	0	0	96.9%
C. 高い倫理観	34	26	3	0	1	95.2%
D. 臨床検査に必要な知識と技術	46	17	1	0	0	98.4%
E. 先進・高度化する医療に対応できる実践能力	31	29	4	0	0	93.8%
F. 保健・医療・福祉の各分野の役割を理解し、チーム医療の一員としての自覚とそれを実践するための専門性と協調性	34	27	3	0	0	95.3%
G. 臨床検査のスペシャリストとして、進歩や変化に常に関心を持ち、生涯にわたり自己研鑽する姿勢	39	21	3	1	0	93.8%
H. 多様な文化や価値観を尊重し、地域的・国際的な視野で活躍できる能力	26	26	12	0	0	81.3%
I. 臨床検査学領域における様々な問題や研究課題に対し、解決に向けた情報の適切な分析、科学的思考と的確な判断ができる能力	34	28	2	0	0	96.9%



## ■授業科目の満足度

### 1. 全学教育科目-「教養教育」「基礎教育」「医療基盤教育」の3つの分野で構成

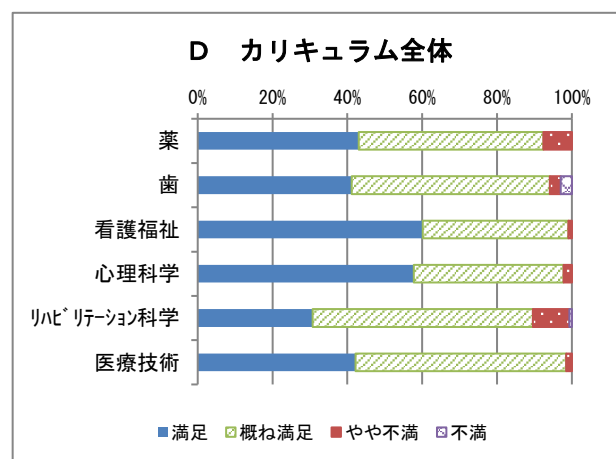
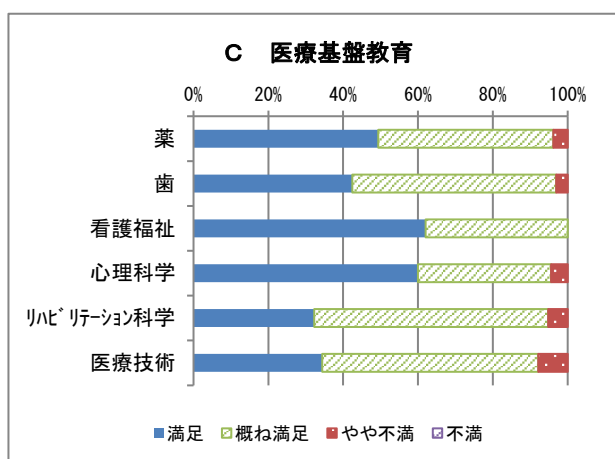
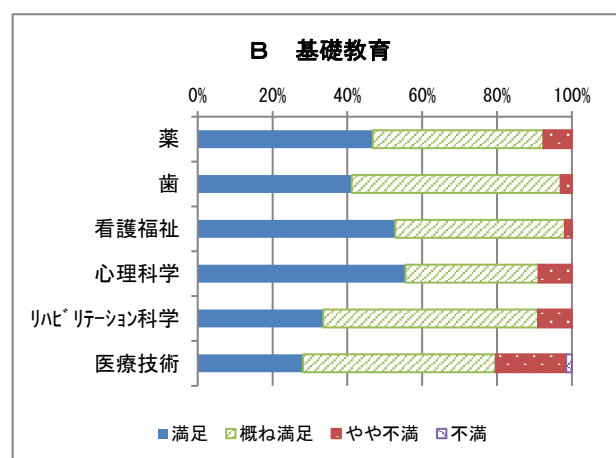
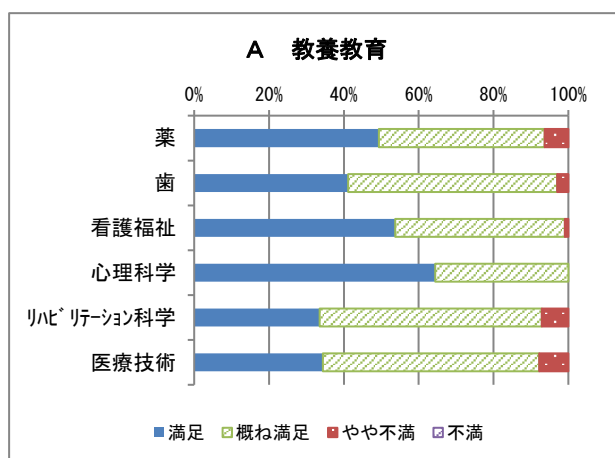
○項目「A 教養教育」「B 基礎教育」「C 医療基盤教育」「D カリキュラム全体」

○選択肢「4. 満足」「3. 概ね満足」「2. やや不満」「1. 不満」

「満足」「概ね満足」と回答した割合の合計（以下、「満足度」と表記）は、下表のとおり。

（単位：％、カッコ内は前年）

学部等 \ 項目	A 教養教育	B 基礎教育	C 医療基盤教育	D カリキュラム全体
大学全体	95.3 (93.5)	91.8 (90.5)	96.1 (94.1)	94.4 (94.3)
薬学部	93.7 (88.4)	92.4 (89.9)	96.2 (92.8)	92.4 (92.6)
歯学部	97.1 (90.6)	97.1 (92.5)	97.0 (90.6)	94.1 (92.5)
看護福祉学部	98.1 (96.1)	98.1 (93.8)	100.0 (97.7)	99.1 (97.7)
心理科学部	100.0 (96.3)	91.1 (88.9)	95.6 (96.3)	97.8 (98.1)
リハビリテーション科学部	92.9 (95.1)	91.1 (92.6)	94.8 (96.9)	89.5 (92.0)
医療技術科学部	92.2 (89.3)	79.7 (76.8)	92.2 (80.4)	98.4 (92.9)



## 2. 専門教育科目

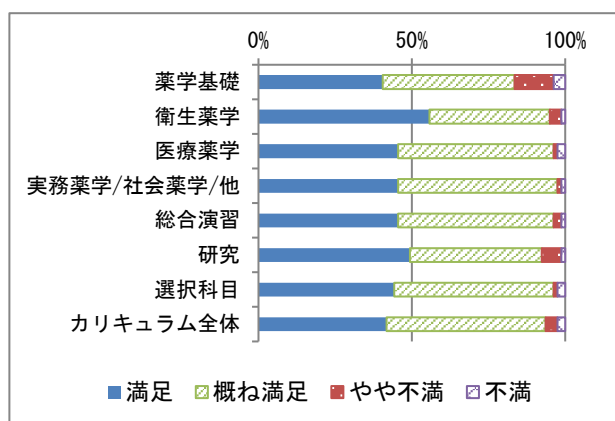
○項目 各学部の専門教育科目の分類による。

○選択肢「4. 満足」「3. 概ね満足」「2. やや不満」「1. 不満」

「4. 満足」「3. 概ね満足」と回答した割合（以下「満足度」と表記）は、下記の各表のとおり。

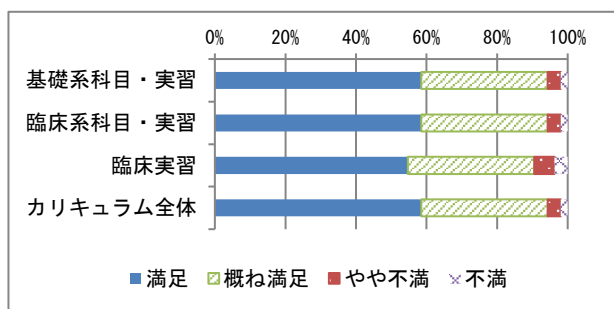
### ●薬学部

A 薬学基礎	B 衛生薬学	C 医療薬学	D 実務薬学/社会薬学/他
83.5 (89.9)	94.9 (98.6)	96.2 (89.9)	97.5 (91.3)
E 総合演習	F 研究	G 選択科目	H カリキュラム全体
96.2 (88.4)	92.4 (92.8)	96.2 (84.1)	93.7 (89.9)



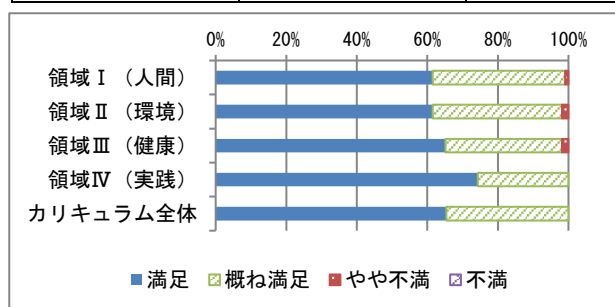
### ●歯学部

A 基礎系科目・実習	B 臨床系科目・実習	C 臨床実習	D カリキュラム全体
94.1 (94.3)	94.1 (94.3)	91.2 (90.6)	94.1 (99.7)



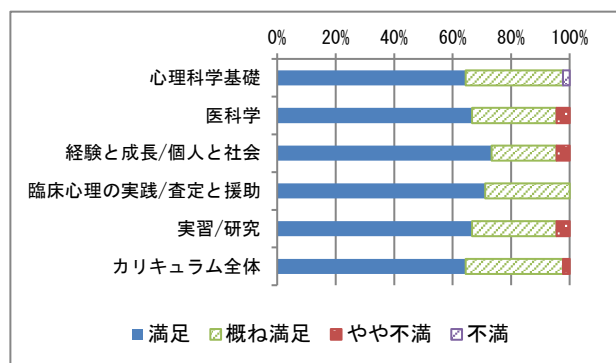
### ●看護福祉学部

A 領域Ⅰ（人間）	B 領域Ⅱ（環境）	C 領域Ⅲ（健康）	D 領域Ⅳ（実践）	E カリキュラム全体
99.1 (98.4)	98.2 (97.7)	98.2 (97.7)	100.0 (99.2)	100.0 (99.2)



●心理科学部（臨床心理学科）

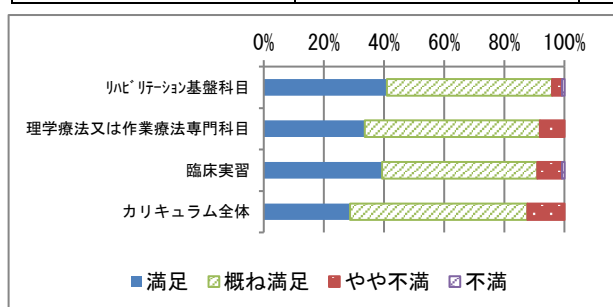
A 心理科学基礎	B 医科学	C 経験と成長/個人と社会
97.8 (98.1)	95.6 (94.4)	95.6 (96.3)
D 臨床心理の実践/査定と援助	E 実習/研究	F カリキュラム全体
100.0 (96.3)	95.6 (90.7)	97.8 (98.1)



●リハビリテーション科学部

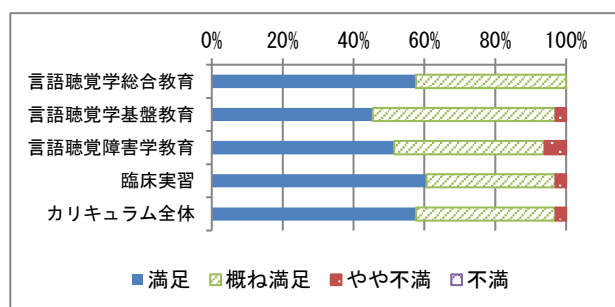
ア) 理学療法学科・作業療法学科

A リハビリテーション基盤	B 理学・作業療法専門	C 臨床実習	D カリキュラム全体
95.9 (97.4)	91.8 (93.0)	91.0 (93.0)	87.7 (86.8)



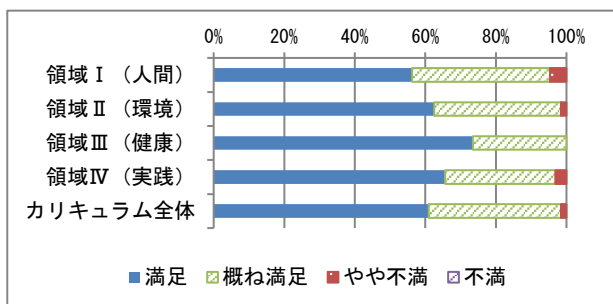
イ) 言語聴覚療法学科

A 言語聴覚学総合教育	B 言語聴覚学基盤教育	C 言語聴覚障害学教育	D 臨床実習	E カリキュラム全体
100.0 (100.0)	97.0 (98.0)	93.9 (98.0)	97.0 (95.9)	97.0 (100.0)



●医療技術学部（臨床検査学科）

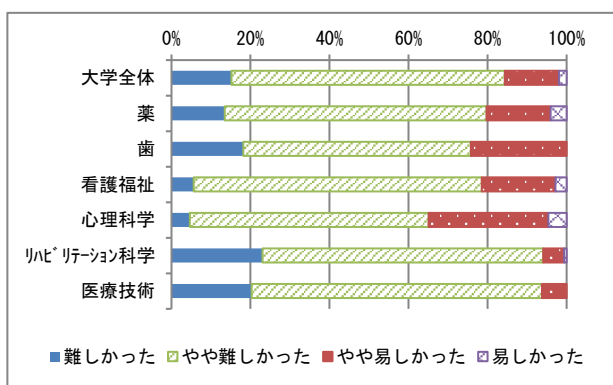
A 基礎科目	B 専門科目	C 臨床実習	D 卒業研究	E カリキュラム全体
95.3 (83.9)	98.4 (92.9)	100.0 (85.7)	96.9 (89.3)	98.4 (94.4)



■教育プログラムの水準

○選択肢「4. 難しかった」「3. やや難しかった」「2. やや易しかった」「1. 易しかった」

大学全体	薬学部	歯学部	看護福祉学部	心理科学部	リハビリテーション科学部	医療技術学部
84.4 (83.3)	79.7 (85.2)	75.8 (86.0)	78.5 (67.2)	65.1 (84.9)	94.1 (90.0)	93.8 (92.7)



■自由記述(件数)

	知識・技能の修得成果	授業・カリキュラムの評価	教育内容・大学への要望
薬学部	0	2	5
歯学部	1	1	2
看護福祉学部	11	16	13
心理科学部	4	4	6
リハビリテーション科学部	21	35	21
医療技術学部	15	22	15

## Ⅱ. 大学院・研究科

### ■ 回答率

大学院・研究科		修了生数(人)	回答者数(人)と回答率	
薬学研究科	薬学専攻(博士課程)	2	0	0.0%
歯学研究科	歯学専攻(博士課程)	11	6	54.5%
看護福祉学研究科	看護学専攻(修士課程)	6	2	33.3%
	臨床福祉学専攻(修士課程)	3	5	166.7%
	看護学専攻(博士課程)	1	0	0.0%
心理科学研究科	臨床心理学専攻(修士課程)	15	11	73.3%
	臨床心理学専攻(博士課程)	1	1	100.0%
リハビリテーション科学研究科	リハビリテーション科学専攻(修士課程)	3	2	66.7%
	リハビリテーション科学専攻(博士課程)	2	0	0.0%
計		44	27	61.4%

### 1. 大学院の調査概要

#### ■ 修士課程と博士課程の別による修得すべき知識・能力

問2で在学中、「大学院課程教育において修得すべき知識・能力」がどの程度身についたかを質問した。

○修得すべき知識・能力: 下記の表を参照

○選択肢: 「4. 身についた」、「3. 概ね身についた」、「2. あまり身につかなかった」、「1. 身につかなかった」

#### ■ 課程において身につけるべき知識・技能の修得度

##### (2-1) 修士課程修了者

知識・能力 \ 評価	4	3	2	1	4と3の合計と回答率	
A 問題発見能力および解決能力	3	13	2	0	16	88.9%
B 高度専門職能の基礎となる学識	5	9	4	0	14	77.8%
C チーム医療への対応	1	11	6	0	12	66.7%
D 社会に貢献できる能力	3	13	2	0	16	88.9%
E コミュニケーション能力	5	13	0	0	18	100.0%
F 国際的な視野	0	6	12	0	6	33.3%
G 高い倫理観	6	9	3	0	15	83.3%
H 自己研鑽能力	6	12	0	0	18	100.0%

##### (2-2) 博士課程修了者

知識・能力 \ 評価	4	3	2	1	4と3の合計と回答率	
A 研究計画能力と研究実践能力	3	3	0	0	6	100.0%
B 研究競争力と問題処理能力	1	5	0	0	6	100.0%
C 高度専門知識	2	4	0	0	6	100.0%
D コミュニケーション能力	3	3	0	0	6	100.0%
E 国際的な視野と行動力	1	4	1	0	5	83.3%
F 責任性と高い倫理観	2	4	0	0	6	100.0%
G 知的技術者(実践技術者)能力	2	3	1	0	5	83.3%
H 指導者の能力	1	1	4	0	2	33.3%
I 自己研鑽能力	1	5	0	0	6	100.0%
J 論文作成能力	1	4	1	0	5	83.3%

### ■教育プログラム全体の達成度

○選択肢:「4. 達成した」、「3. 概ね達成した」、「2. あまり達成しなかった」、「1. 達成しなかった」

課程 \ 評価	4	3	2	1	4と3の合計と回答率	
修士課程	5	12	0	0	17	100.0%
博士課程	4	3	0	0	7	100.0%

### ■課程修了後の進路選択に関する所属研究科の教育プログラム全体の有用度

○選択肢:「4. 有用であった」、「3. 概ね有用であった」、「2. あまり有用でなかった」、「1. 有用でなかった」

課程 \ 評価	4	3	2	1	4と3の合計と回答率	
修士課程	11	6	0	0	17	100.0%
博士課程	4	3	0	0	7	100.0%

### ■教育プログラムの水準

○選択肢:「4. 難しかった」、「3. やや難しかった」、「2. やや易しかった」、「1. 易しかった」

課程 \ 評価	4	3	2	1	4と3の合計と回答率	
修士課程	3	11	3	1	14	77.8%
博士課程	0	7	0	0	7	100.0%

### ■自由記述件数

研究科 \ 項目	知識・技能の修得成果	授業・カリキュラムの評価	教育内容・大学への要望
歯学研究科	2	1	1
看護福祉学研究科	2	1	1
心理科学研究科	5	7	6
リハビリテーション科学研究科	1	0	0

## 北海道医療大学の教育に関するアンケート

## 薬学部・薬学科

点検・評価全学審議会

本調査は北海道医療大学の卒業予定者を対象とし、点検・評価全学審議会が実施するアンケートで、本学の学士課程(学部)教育の改善に役立てることを目的としていますので、率直なご意見をお寄せください。なお、回答結果は大学において厳重に管理し、個人が特定できる形での公表はいたしません。

## &lt;薬学部の教育理念・目的・目標、学位授与の方針について&gt;

薬学部では以下の教育理念・目的・目標を定め、これらに基づき学位授与の方針を定めています。

## ○教育理念

本学の教育理念を基本として、薬と医療にかかわる総合的な科学技術教育を推進することにより、人々の健康を守り、地域社会ならびに人類の幸福に貢献することを薬学部薬学科の教育理念とする。

## ○教育目的

薬学部薬学科の教育理念に沿って、薬剤師としての社会的使命を正しく遂行し得るために必要な豊かな人間性、薬と医療にかかわる科学的知識、研究・実習を通じて体得した技能と問題解決能力を有する人材の養成を本学科の教育目的とする。

## ○教育目標

1. 薬と医療に関する基礎および応用の科学ならびに技術の修得
2. 生命を尊重し、幅広く深い教養と豊かな人間性の涵養
3. 薬剤師としての技能と問題解決能力の修得
4. 自主性、協調性および創造性の涵養
5. 地域社会ならびに国際社会で活躍できる能力の涵養

## ○学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

薬学部薬学科の教育目標に基づき、卒業のために以下の要件を満たすことが求められる。これらの要件には、薬剤師として社会で活躍するための基本的な 10 の資質\*の養成が含まれる。

1. 医療人として求められる高い倫理観を持ち、法令を理解し、他者を思いやる豊かな人間性を有する。
2. 有効で安全な薬物療法の実践、ならびに人々の健康な生活に寄与するために必要な、基礎から応用までの薬学的知識を修得している。
3. 多職種が連携する医療チームに積極的に参画し、地域的および国際的視野を持つ薬剤師としてふさわしい情報収集・評価・提供能力を有する。
4. 卒業研究や実務実習を通じて、医療の進歩に対応できる柔軟性と、臨床における問題点を発見・解決する能力を有する。
5. 後進の育成に努め、かつ生涯にわたって常に学び続ける姿勢と意欲を有する。

\*薬剤師として求められる基本的な資質

- ① 薬剤師としての心構え ② 患者・生活者本位の視点 ③ コミュニケーション能力 ④ チーム医療への参画 ⑤ 基礎的な科学力 ⑥ 薬物療法における実践的能力 ⑦ 地域の保健・医療における実践的能力 ⑧ 研究能力 ⑨ 自己研鑽 ⑩ 教育能力

【問1】「学位授与の方針」に基づく A～H の能力(要件)について、自己評価として最も当てはまるものを選んでください。

基準： 4. 身についた 3. 概ね身についた 2. あまり身につかなかった 1. 身につかなかった

A 医療人として求められる高い倫理観	4	3	2	1
B 関係法令の理解	4	3	2	1
C 他者を思いやる豊かな人間性	4	3	2	1
D 有効で安全な薬物療法の実践、ならびに人々の健康な生活に寄与するために必要な、基礎から応用までの薬学的知識	4	3	2	1
E 多職種が連携する医療チームに積極的に参画し、地域的および国際的視野を持つ薬剤師としてふさわしい情報収集 評価 提供能力	4	3	2	1
F 医療の進歩に対応できる柔軟性	4	3	2	1
G 臨床における問題点を発見・解決する能力	4	3	2	1
H 後進の育成に努め、かつ生涯にわたって常に学び続ける姿勢と意欲	4	3	2	1

<授業科目・カリキュラムの満足度について>

【問2】 全学教育科目の授業内容の満足度について、A～Dの項目について4段階で○を付けてください。

基準： 4. 満足 3. 概ね満足 2. やや不満 1. 不満

A 教養教育科目(基礎ゼミナール、人間と思想、人間と文化 等)	4	3	2	1
B 基礎教育科目(外国語、健康・運動科学、情報科学、自然科学 等)	4	3	2	1
C 医療基盤教育科目(個性健康科学、地域連携、医療倫理 等)	4	3	2	1
D カリキュラム全体	4	3	2	1

【問3】 問2で良かったと思った点や不満に感じた点がありましたらご記入ください。

※4 または 1 を選択の場合、可能であればその理由を記述してください。

--

【問4】 専門教育科目の授業内容の満足度について、A～H の項目について4段階で○を付けてください。

基準： 4. 満足 3. 概ね満足 2. やや不満 1. 不満

A 薬学基礎科目(物理、化学、生物)	4	3	2	1
B 衛生薬学科目(衛生)	4	3	2	1
C 医療薬学科目(薬理/病態/薬物治療、薬剤)	4	3	2	1
D 実務薬学/社会薬学/他(実務、法制、その他)	4	3	2	1
E 総合演習(実践、複合、総合)・実習(基本、実務)	4	3	2	1
F 研究(総合薬学研究)	4	3	2	1
G 選択科目(基礎、オリジナル、アドバンスト)	4	3	2	1
H カリキュラム全体	4	3	2	1

【問5】 問4で良かったと思った点や不満に感じた点がありましたらご記入ください。

※4 または 1 を選択の場合、可能であればその理由を記述してください。

--

【問6】 あなたの履修した教育プログラムの水準について、全体的印象として該当する番号に○を付けてください。

4. 難しかった 3. やや難しかった 2. やや易しかった 1. 易しかった

【問7】 北海道医療大学で受けた教育のことや大学へ要望することなどがありましたら自由に記入してください。

--



## 北海道医療大学の教育に関するアンケート

歯学部・歯学科

点検・評価全学審議会

本調査は北海道医療大学の卒業予定者を対象とし、点検・評価全学審議会が実施するアンケートで、大学の学士課程(学部)教育の改善に役立てることを目的としていますので、率直なご意見をお寄せください。なお、回答結果は大学において厳重に管理し、個人が特定できる形での公表はいたしません。

## &lt;歯学部の教育理念・目的・目標、学位授与の方針について&gt;

歯学部では以下の教育理念・目的・目標を定め、これらに基づき学位授与の方針を定めています。

## ○教育理念

本学の教育理念を基本として、歯科保健、歯科医療と福祉の連携・統合をはかる教育を推進し、人々のライフステージに応じた口腔の健康を守る医療人の養成をもって、地域社会ならびに国際社会に貢献し人類の幸福に寄与することを歯学部歯学科の教育理念とする。

## 1. 歯科保健・歯科医療と福祉の連携・統合

高齢化及び少子化の影響を受けて、疾病構造が大きく変化し、歯科医療は大きな転換期を迎えており、高齢者や障害者の治療・予防・ケアを通じて、地域における福祉と密接な連携を図る必要がある。さらには、在宅の患者に対する訪問歯科ケアも重要性を帯びてきており、看護や介護・リハビリ関係者との連携もますます重要になっている。したがって、歯学部では、高齢者歯科学・障害者歯科学・歯科医療福祉論等、時代に即応した新しい教育を行う必要がある。つまり、歯科医療を通じて社会における保健と医療と福祉の連携・統合を図ることが、本学歯学部教育理念である。

## 2. 生涯を通じた口腔の健康を守る医療人の養成

超高齢社会の到来とともに、口腔疾患の予防と健康増進に対する国民の関心は、ますます高くなっている。これからの歯科医療は、患者の健康状態を心身の両面から総合的に把握し、顎口腔系疾患を全身的知見からとらえていかねばならない。したがって、これからの歯科医療は、一人一人の患者の生涯を通じた口腔の健康を守る社会的使命を担うことになる。また、社会のグローバル化に伴い様々な場面で国際的視野に基づいた医療行動が求められている。地域社会と国際社会との連携が要求される所以であり、学生教育においてその重要性を教授し、地域社会および国際社会への貢献を図ることを教育理念とする。

## ○教育目的

歯学部歯学科の教育理念に沿って、豊かな人間性と職業倫理を備え、人々の健康の維持・増進に寄与するとともに、地域的および国際的視野から歯科医学の発展および歯科医療の向上に貢献できる歯科医師の養成を本学科の教育目的とする。

## ○教育目標

## 1. 歯科医学・歯科医療に関する基本的な知識および技術を修得する。

科学技術の進歩発展による歯科医学の専門化及び総合化が進んでおり、歯科医療においても、顎顔面口腔領域における総合的な診断と治療が求められている。それらに応じていけるように、歯科医学・歯科医療に関する基本的な知識及び技術を修得することが目標となる。

## 2. 歯科医師としての心構えと倫理観を育成する。

人々の健康に奉仕するという歯科医師としての確固とした心構えと倫理観・責任感を育成する。

## 3. 自己開発の能力と習慣を身につける。

日進月歩の医療界において、歯科医師として生涯にわたって活躍し続けるためには、たゆまずに研鑽を積んでいかねばならない。そのためには、自己開発の能力と習慣を身につけることが必要となる。

## 4. 協調し建設的に行動できる態度と能力を身につける。

地域社会に貢献できる歯科医師は、歯科衛生士や歯科技工士だけではなく、医師や薬剤師、看護師、リハビリ担当者や臨床検査技師、さらには福祉関係者とも協働していかねばならない。臨床心理士との連携が必要な場合もある。したがって、知識と技術と人間性を兼ね備えた態度と能力を身につける必要がある。

## 5. 地域的および国際的な視野を身につける。

歯科医療の実践には、その時々々の疾患構造の特性や状況を地域的および国際的な視野からの確に判断し対応することが求められている。そのための広い視野を身につける必要がある。

## ○学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

歯学部歯学科の教育目標に基づき、卒業のために以下の要件を満たすことが求められる。

## 1. 人々のライフステージに応じた疾患の予防、診断および治療を実践するために基本的な医学、歯科医学、福祉の知識および歯科保健と歯科医療の技術を修得している(専門的実践能力)。

## 2. 「患者中心の医療」を提供するために必要な高い倫理観、他者を思いやる豊かな人間性および優れたコミュニケーション能力を身につけている(プロフェッショナリズムとコミュニケーション能力)。

## 3. 疾患の予防、診断および治療の新たなニーズに対応できるよう生涯にわたって自己研鑽し、継続して自己の専門領域を発展させる能力を身につけている(自己研鑽力)。

## 4. 多職種(保健・医療・福祉)と連携・協力しながら歯科医師の専門性を発揮し、患者中心の安全な医療を実践できる(多職種が連携するチーム医療)。

## 5. 歯科医療の専門家として、地域的および国際的な視野で活躍できる能力を身につけている(社会的貢献)。

【問1】「学位授与の方針」に基づく A～G の能力(要件)について、自己評価として最も当てはまるものを選んでください。

基準： 4. 身についた 3. 概ね身についた 2. あまり身につかなかった 1. 身につかなかった

A 人々のライフステージに応じた疾患の予防、診断および治療を実践するために基本的な医学、歯科医学、福祉の知識および歯科保健と歯科医療の技術	4	3	2	1
B 「患者中心の医療」を提供するために必要な高い倫理観	4	3	2	1
C 他者を思いやる豊かな人間性	4	3	2	1
D 優れたコミュニケーション能力	4	3	2	1
E 疾患の予防、診断および治療の新たなニーズに対応できるよう生涯にわたって自己研鑽し、継続して自己の専門領域を発展させる能力	4	3	2	1
F 多職種(保健・医療・福祉)と連携・協力しながら歯科医師の専門性を発揮し、患者中心の安全な医療を実践できる力	4	3	2	1
G 歯科医療の専門家として、地域的および国際的な視野で活躍できる能力	4	3	2	1

<授業科目・カリキュラムの満足度について>

【問2】 全学教育科目の授業内容の満足度について、A～Dの項目について4段階で○を付けてください。

基準： 4. 満足 3. 概ね満足 2. やや不満 1. 不満

A 教養教育科目(基礎ゼミナール、人間と思想、人間と文化 等)	4	3	2	1
B 基礎教育科目(外国語、健康・運動科学、情報科学、自然科学 等)	4	3	2	1
C 医療基盤教育科目(個体差健康科学、地域連携、医療倫理 等)	4	3	2	1
D カリキュラム全体	4	3	2	1

【問3】 問2で良かったと思った点や不満に感じた点がありましたらご記入ください。

※4 または 1 を選択の場合、可能であればその理由を記述してください。

【問4】 専門教育科目の授業内容の満足度について、A～D の項目について4段階で○を付けてください。

基準： 4. 満足 3. 概ね満足 2. やや不満 1. 不満

A 基礎系科目・実習	4	3	2	1
B 臨床系科目・実習	4	3	2	1
C 臨床実習	4	3	2	1
D カリキュラム全体	4	3	2	1

【問5】 問4で良かったと思った点や不満に感じた点がありましたらご記入ください。

※4 または 1 を選択の場合、可能であればその理由を記述してください。

【問6】 あなたの履修した教育プログラムの水準について、全体的印象として該当する番号に○を付けてください。

4. 難しかった 3. やや難しかった 2. やや易しかった 1. 易しかった

【問7】 北海道医療大学で受けた教育のことや大学へ要望することなどがありましたら自由に記入してください。

北海道医療大学の教育に関するアンケート  
看護福祉学部・看護学科

点検・評価全学審議会

本調査は北海道医療大学の卒業予定者を対象とし、点検・評価全学審議会が実施するアンケートで、大学の学士課程(学部)教育の改善に役立てることを目的としていますので、率直なご意見をお寄せください。なお、回答結果は大学において厳重に管理し、個人が特定できる形での公表はいたしません。

<看護福祉学部・看護学科の教育理念・目的・目標、学位授与の方針について>

看護福祉学部・看護学科では以下の教育理念・目的・目標を定め、これらに基づき学位授与の方針を定めています。

○教育理念

本学の教育理念を基本として、看護と福祉の連携・統合をめざす創造的な教育を推進し、総合的なヒューマンケアを担う看護専門職業人を養成することにより、地域社会や人々の健康の向上に貢献することを看護福祉学部看護学科の教育理念とする。

○教育目的

看護福祉学部看護学科の教育理念に沿って、人々の健康と福祉の向上のために、看護と福祉を総合的に俯瞰した専門的知識・技術を修得し、人々の尊厳を守り、維持するための総合的ヒューマンケアを実践できる看護師や保健師など看護専門職業人の養成を本学科の教育目的とする。

○教育目標

看護福祉学部看護学科の教育理念・教育目的に基づいて、以下の教育目標を定める。

1. ヒューマンケアに関する深い教養および豊かな人間性の涵養
2. ヒューマンケアを基本とした看護専門職に必要な知識・技術の修得
3. 看護専門領域における自律的・創造的な実践力の涵養
4. ヒューマンサービスに関連する領域の人々と連携できる協調性の確立
5. 地域社会や人々の多様性を理解する能力の涵養

○学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

看護福祉学部看護学科の教育目標に基づき、卒業のために以下の要件を満たすことが求められる。

1. 人間の生命および個人の尊重を基本とする高い倫理観と豊かな人間性を身につけている。
2. 看護専門職に必要な知識・技術を修得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力を身につけている。
3. 社会環境の変化や保健・医療・福祉の新たなニーズに対応できるよう自己研鑽し、自らの専門領域において自律的・創造的に実践する能力を身につけている。
4. 保健・医療・福祉をはじめ、人間に関する様々な領域の人々と連携・協働できる能力を身につけている。
5. 多様な文化や価値観を尊重して地域社会に貢献できる能力を身につけている。

【問1】「学位授与の方針」に基づく A～H の能力(要件)について、自己評価として最も当てはまるものを選んでください。

基準： 4. 身についた 3. 概ね身についた 2. あまり身につかなかった 1. 身につかなかった

A 人間の生命および個人の尊重を基本とする高い倫理観	4	3	2	1
B 豊かな人間性	4	3	2	1
C 看護専門職に必要な知識・技術	4	3	2	1
D 健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力	4	3	2	1
E 社会環境の変化や保健・医療・福祉の新たなニーズに対応できるよう自己研鑽する力	4	3	2	1
F 自らの専門領域において自律的・創造的に実践する能力	4	3	2	1
G 保健・医療・福祉をはじめ、人間に関する様々な領域の人々と連携・協働できる能力	4	3	2	1
H 多様な文化や価値観を尊重して地域社会に貢献できる能力	4	3	2	1

<授業科目・カリキュラムの満足度について>

【問2】 全学教育科目の授業内容の満足度について、A～Dの項目について4段階で○を付けてください。

基準： 4. 満足 3. 概ね満足 2. やや不満 1. 不満

A 教養教育科目(基礎ゼミナール、人間と思想、人間と文化 等)	4	3	2	1
B 基礎教育科目(外国語、健康・運動科学、情報科学、自然科学 等)	4	3	2	1
C 医療基盤教育科目(個性健康科学、地域連携、医療倫理 等)	4	3	2	1
D カリキュラム全体	4	3	2	1

【問3】 問2で良かったと思った点や不満に感じた点がありましたらご記入ください。

※4 または 1 を選択の場合、可能であればその理由を記述してください。

【問4】 専門教育科目の授業内容の満足度について、A～E の項目について4段階で○を付けてください。

基準： 4. 満足 3. 概ね満足 2. やや不満 1. 不満

A 領域Ⅰ(人間)科目(看護学原論/社会福祉原論 等)	4	3	2	1
B 領域Ⅱ(環境)科目(社会福祉概論/社会保障論 等)	4	3	2	1
C 領域Ⅲ(健康)科目(医学原論/医学一般 等)	4	3	2	1
D 領域Ⅳ(実践)科目(成人看護学実習Ⅰ/臨床福祉専門演習Ⅰ 等)	4	3	2	1
E カリキュラム全体	4	3	2	1

【問5】 問4で良かったと思った点や不満に感じた点がありましたらご記入ください。

※4 または 1 を選択の場合、可能であればその理由を記述してください。

【問6】 あなたの履修した教育プログラムの水準について、全体的印象として該当する番号に○を付けてください。

4. 難しかった 3. やや難しかった 2. やや易しかった 1. 易しかった

【問7】 北海道医療大学で受けた教育のことや大学へ要望することなどがありましたら自由に記入してください。

北海道医療大学の教育に関するアンケート  
看護福祉学部・福祉マネジメント学科

点検・評価全学審議会

本調査は北海道医療大学の卒業予定者を対象とし、点検・評価全学審議会が実施するアンケートで、本学の学士課程(学部)教育の改善に役立てることを目的としていますので、率直なご意見をお寄せください。なお、回答結果は大学において厳重に管理し、個人が特定できる形での公表はいたしません。

<看護福祉学部・福祉マネジメント学科の教育理念・目的・目標、学位授与の方針について>

看護福祉学部・福祉マネジメント学科では以下の教育理念・目的・目標を定め、これらに基づき学位授与の方針を定めています。

○教育理念

本学の教育理念を基本として、看護と福祉の連携・統合をめざす創造的な教育を推進し、総合的なヒューマンケアを担う福祉専門職業人を養成することにより、地域社会や人々の福祉の向上に貢献することを看護福祉学部福祉マネジメント学科の教育理念とする。

○教育目的

看護福祉学部福祉マネジメント学科の教育理念に沿って、人々の健康と福祉の向上のために、看護と福祉を総合的に俯瞰した専門的知識・技術を修得し、人々の尊厳を守り、維持するための総合的ヒューマンケアの観点から社会福祉士や精神保健福祉士など臨床現場をはじめ、保健・福祉・行政などの場でリーダーとして活躍できる専門職業人の養成を本学科の教育目的とする。

○教育目標

看護福祉学部福祉マネジメント学科の教育理念・教育目的に基づいて、以下の教育目標を定める。

1. ヒューマンケアに関する深い教養および豊かな人間性の涵養
2. ヒューマンケアを基本とした福祉専門職に必要な知識・技術の修得
3. 福祉専門領域における自律的・創造的な実践力の涵養
4. ヒューマンサービスに関連する領域の人々と連携できる協調性の確立
5. 地域社会や人々の多様性を理解する能力の涵養

○学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

看護福祉学部福祉マネジメント学科の教育目標に基づき、卒業のために以下の要件を満たすことが求められる。

1. 人間の生命および個人の尊重を基本とする高い倫理観と豊かな人間性を身につけている。
2. 福祉専門職に必要な知識・技術を修得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力を身につけている。
3. 社会環境の変化や保健・医療・福祉の新たなニーズに対応できるよう自己研鑽し、自らの専門領域において自律的・創造的に実践する能力を身につけている。
4. 保健・医療・福祉をはじめ、人間に関する様々な領域の人々と連携・協働できる能力を身につけている。
5. 多様な文化や価値観を尊重して地域社会に貢献できる能力を身につけている。

【問1】「学位授与の方針」に基づく A～H の能力(要件)について、自己評価として最も当てはまるものを選んでください。

基準： 4. 身についた 3. 概ね身についた 2. あまり身につかなかった 1. 身につかなかった

A 人間の生命および個人の尊重を基本とする高い倫理観	4	3	2	1
B 豊かな人間性	4	3	2	1
C 福祉専門職に必要な知識・技術	4	3	2	1
D 健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力	4	3	2	1
E 社会環境の変化や保健・医療・福祉の新たなニーズに対応できるよう自己研鑽する力	4	3	2	1
F 自らの専門領域において自律的・創造的に実践する能力	4	3	2	1
G 保健・医療・福祉をはじめ、人間に関する様々な領域の人々と連携・協働できる能力	4	3	2	1
H 多様な文化や価値観を尊重して地域社会に貢献できる能力	4	3	2	1

<授業科目・カリキュラムの満足度について>

【問2】 全学教育科目の授業内容の満足度について、A～Dの項目について4段階で○を付けてください。

基準： 4. 満足 3. 概ね満足 2. やや不満 1. 不満

A 教養教育科目(基礎ゼミナール、人間と思想、人間と文化 等)	4	3	2	1
B 基礎教育科目(外国語、健康・運動科学、情報科学、自然科学 等)	4	3	2	1
C 医療基盤教育科目(個性健康科学、地域連携、医療倫理 等)	4	3	2	1
D カリキュラム全体	4	3	2	1

【問3】 問2で良かったと思った点や不満に感じた点がありましたらご記入ください。

※4 または 1 を選択の場合、可能であればその理由を記述してください。

【問4】 専門教育科目の授業内容の満足度について、A～E の項目について4段階で○を付けてください。

基準： 4. 満足 3. 概ね満足 2. やや不満 1. 不満

A 領域Ⅰ(人間)科目(看護学原論/社会福祉原論 等)	4	3	2	1
B 領域Ⅱ(環境)科目(社会福祉概論/社会保障論 等)	4	3	2	1
C 領域Ⅲ(健康)科目(医学原論/医学一般 等)	4	3	2	1
D 領域Ⅳ(実践)科目(成人看護学実習Ⅰ/臨床福祉専門演習Ⅰ 等)	4	3	2	1
E カリキュラム全体	4	3	2	1

【問5】 問4で良かったと思った点や不満に感じた点がありましたらご記入ください。

※4 または 1 を選択の場合、可能であればその理由を記述してください。

【問6】 あなたの履修した教育プログラムの水準について、全体的印象として該当する番号に○を付けてください。

4. 難しかった 3. やや難しかった 2. やや易しかった 1. 易しかった

【問7】 北海道医療大学で受けた教育のことや大学へ要望することなどがありましたら自由に記入してください。

北海道医療大学の教育に関するアンケート  
心理科学部・臨床心理学科

点検・評価全学審議会

本調査は北海道医療大学の卒業予定者を対象とし、点検・評価全学審議会が実施するアンケートで、本学の学士課程(学部)教育の改善に役立てることを目的としていますので、率直なご意見をお寄せください。なお、回答結果は大学において厳重に管理し、個人が特定できる形での公表はいたしません。

<心理科学部・臨床心理学科の教育理念・目的・目標、学位授与の方針について>

心理科学部・臨床心理学科では以下の教育理念・目的・目標を定め、これらに基づき学位授与の方針を定めています。

○教育理念

本学の教育理念を基本として、現代科学技術の成果を認識し、心にかかわる自然科学と人文社会科学の連携による健康科学教育を推進する。生命の価値に対する倫理観を涵養し、心の障害、コミュニケーション障害を真摯に受け止めることが出来る知性と感性を備えた人材を養成することにより、人類の幸福に貢献することを心理科学部臨床心理学科の教育理念とする。

○教育目的

心理科学部臨床心理学科の教育理念に沿って、心にかかわる自然科学と人文社会科学が連携した教育を通して、生命の価値に対する真摯な倫理観を涵養し、心の障害、コミュニケーション障害を一生の出来事として受け止めることが出来る知性と感性を備えた公認心理師や産業カウンセラー、スクールカウンセラー等の心理学に関する専門的知識を修得した人材の養成を本学科の教育目的とする。

○教育目標

心理科学部臨床心理学科の教育理念・教育目的に基づいて、以下の教育目標を定める。

1. 心の障害、コミュニケーション障害に対処する心理専門職としての知識・技術の修得
2. 社会の変化、科学技術の進展に合わせて専門性を検証し、自己研鑽できる能力の育成
3. 予防的、治療的、予後的次元から様々な障害を見通せる能力の涵養
4. 生命の尊厳に対する専門性のかかわりを常に意識できる感性の育成
5. 地域的・国際的に貢献しうる学識と行動力の涵養

○学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

心理科学部臨床心理学科の教育目標に基づき、卒業のために以下の要件を満たすことが求められる。

1. 心の問題にかかわる職業人として必要な幅広い教養と専門的知識を修得している。
2. 社会の変化、科学技術の進展に合わせて、教養と専門性を維持向上させる能力を修得している。
3. 社会の様々な分野において、心の問題を評価し、それを適切に判断し援助できる基礎的技能を修得している。

【問1】「学位授与の方針」に基づく A～C の能力(要件)について、自己評価として最も当てはまるものを選んでください。

基準： 4. 身についた 3. 概ね身についた 2. あまり身につかなかった 1. 身につかなかった

A	心の問題にかかわる職業人として必要な幅広い教養と専門的知識	4	3	2	1
B	社会の変化、科学技術の進展に合わせて、教養と専門性を維持向上させる能力	4	3	2	1
C	社会の様々な分野において、心の問題を評価し、それを適切に判断し援助できる基礎的技能	4	3	2	1

<授業科目・カリキュラムの満足度について>

【問2】 全学教育科目の授業内容の満足度について、A～Dの項目について4段階で○を付けてください。

基準： 4. 満足 3. 概ね満足 2. やや不満 1. 不満

A	教養教育科目(基礎ゼミナール、人間と思想、人間と文化 等)	4	3	2	1
B	基礎教育科目(外国語、健康・運動科学、情報科学、自然科学 等)	4	3	2	1
C	医療基盤教育科目(個体差健康科学、地域連携、医療倫理 等)	4	3	2	1
D	カリキュラム全体	4	3	2	1

【問3】 問2で良かったと思った点や不満に感じた点がありましたらご記入ください。

※4 または 1 を選択の場合、可能であればその理由を記述してください。

--

【問4】 専門教育科目の授業内容の満足度について、A～F の項目について4段階で○を付けてください。

基準： 4. 満足 3. 概ね満足 2. やや不満 1. 不満

A 心理科学基礎(心理学Ⅰ 等)	4	3	2	1
B 医科学(医学総論 等)	4	3	2	1
C 経験と成長/個人と社会(学習心理学/社会心理学 等)	4	3	2	1
D 臨床実践の基礎/査定と援助(災害心理学/臨床心理アセスメント理論 等)	4	3	2	1
E 実習/研究(臨床心理臨地実習/卒業研究 等)	4	3	2	1
F カリキュラム全体	4	3	2	1

【問5】 問4で良かったと思った点や不満に感じた点がありましたらご記入ください。

※4 または 1 を選択の場合、可能であればその理由を記述してください。

--

【問6】 あなたの履修した教育プログラムの水準について、全体的印象として該当する番号に○を付けてください。

4. 難しかった 3. やや難しかった 2. やや易しかった 1. 易しかった

【問7】 北海道医療大学で受けた教育のことや大学へ要望することなどがありましたら自由に記入してください。

--



北海道医療大学の教育に関するアンケート  
リハビリテーション科学部・理学療法学科

点検・評価全学審議会

本調査は北海道医療大学の卒業予定者を対象とし、点検・評価全学審議会が実施するアンケートで、大学の学士課程(学部)教育の改善に役立てることを目的としていますので、率直なご意見をお寄せください。なお、回答結果は大学において厳重に管理し、個人が特定できる形での公表はいたしません。

<リハビリテーション科学部・理学療法学科の教育理念・目的・目標、学位授与の方針について>

リハビリテーション科学部・理学療法学科では以下の教育理念・目的・目標を定め、これらに基づき学位授与の方針を定めています。

○教育理念

本学の教育理念を基本として、最先端の科学的知識を有するリハビリテーション専門職の養成を図る教育を推進する。科学的専門知識の開発および教授に留まらず、保健・医療・福祉の連携と統合を意識した包括的な視点を有する専門職業人としての理学療法士を養成することにより、人々の健康、地域社会ならびに人類の幸福に貢献することをリハビリテーション科学部理学療法学科の教育理念とする。

○教育目的

リハビリテーション科学部理学療法学科の教育理念に沿って、豊かな人間性と確固たる職業倫理観を身につけ、人々の健康と保健・福祉の向上に寄与するとともに、人々が暮らす生活に根差した地域的および国際的視野から医療の向上に貢献できるリハビリテーションのコアスタッフとしての理学療法士の養成を本学科の教育目的とする。

○教育目標

リハビリテーション科学部理学療法学科の教育理念・教育目的に基づいて、以下の教育目標を定める。

1. 理学療法士に求められる幅広い教養、豊かな感性、高い倫理観とコミュニケーション能力の養成
2. 科学的根拠に基づく理学療法科学の専門知識と技術の修得
3. 保健・医療・福祉分野における多職種連携の理解と、理学療法士として主体的に専門技術を提供できる能力の涵養
4. 社会の変化や科学技術の進展に合わせた持続する自己研鑽力の確立
5. 地域社会ならびに国際社会で活躍できる能力の涵養

○学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

リハビリテーション科学部理学療法学科の教育目標に基づき、卒業のために以下の要件を満たすことが求められる。

1. 生命の尊厳と人権の尊重を基本とした幅広い教養、豊かな人間性、高い倫理観と優れたコミュニケーション能力を身につけている。
2. 最新のリハビリテーション科学を理解し、保健・医療・福祉をはじめとするさまざまな分野において科学的根拠を有する専門技術を提供できる能力を身につけている。
3. 理学療法士として必要な科学的知識や技術を備え、心身に障害を有する人、障害の発生が予測される人、さらにはそれらの人々が営む生活に対して、地域包括ケアの視点から適切に対処できる実践的能力を身につけている。
4. 関係職種と連携し、質の高いチーム医療の実践的能力を身につけている。
5. 国際的および地域的視野を有するリハビリテーションの専門家として活躍できる能力を身につけている。
6. 社会の変化や科学技術の進歩に対応できるよう、常に専門領域の検証と、積極的な自己研鑽および理学療法科学の開発を実践できる能力を身につけている。

【問1】「学位授与の方針」に基づく A～J の能力(要件)について、自己評価として最も当てはまるものを選んでください。

基準： 4. 身についた 3. 概ね身についた 2. あまり身につかなかった 1. 身につかなかった

A 生命の尊厳と人権の尊重を基本とした幅広い教養	4	3	2	1
B 豊かな人間性	4	3	2	1
C 高い倫理観	4	3	2	1
D 優れたコミュニケーション能力	4	3	2	1
E 最新のリハビリテーション科学を理解し、保健・医療・福祉をはじめとするさまざまな分野において科学的根拠を有する専門技術を提供できる能力	4	3	2	1
F 理学療法士として必要な科学的知識や技術	4	3	2	1
G 心身に障害を有する人、障害の発生が予測される人、さらにはそれらの人々が営む生活に対して、地域包括ケアの視点から適切に対処できる実践的能力	4	3	2	1

H	関係職種と連携し、質の高いチーム医療の実践的能力	4	3	2	1
I	国際的および地域的視野を有するリハビリテーションの専門家として活躍できる能力	4	3	2	1
J	社会の変化や科学技術の進歩に対応できるよう、常に専門領域の検証と、積極的な自己研鑽および理学療法科学の開発を实践できる能力	4	3	2	1

<授業科目・カリキュラムの満足度について>

【問2】 全学教育科目の授業内容の満足度について、A～Dの項目について4段階で○を付けてください。

基準： 4. 満足 3. 概ね満足 2. やや不満 1. 不満

A	教養教育科目(基礎ゼミナール、人間と思想、人間と文化 等)	4	3	2	1
B	基礎教育科目(外国語、健康・運動科学、情報科学、自然科学 等)	4	3	2	1
C	医療基盤教育科目(個性差健康科学、地域連携、医療倫理 等)	4	3	2	1
D	カリキュラム全体	4	3	2	1

【問3】 問2で良かったと思った点や不満に感じた点がありましたらご記入ください。

※4 または 1 を選択の場合、可能であればその理由を記述してください。

【問4】 専門教育科目の授業内容の満足度について、A～D の項目について4段階で○を付けてください。

基準： 4. 満足 3. 概ね満足 2. やや不満 1. 不満

A	リハビリテーション基盤科目(解剖学Ⅰ/リハビリテーション概論 等)	4	3	2	1
B	理学療法又は作業療法専門科目(理学療法概論/作業療法概論 等)	4	3	2	1
C	臨床実習(臨床実習Ⅰ～Ⅴ/総合臨床実習Ⅰ・Ⅱ)	4	3	2	1
D	カリキュラム全体	4	3	2	1

【問5】 問4で良かったと思った点や不満に感じた点がありましたらご記入ください。

※4 または 1 を選択の場合、可能であればその理由を記述してください。

【問6】 あなたの履修した教育プログラムの水準について、全体的印象として該当する番号に○を付けてください。

4. 難しかった 3. やや難しかった 2. やや易しかった 1. 易しかった

【問7】 北海道医療大学で受けた教育のことや大学へ要望することなどがありましたら自由に記入してください。

北海道医療大学の教育に関するアンケート  
リハビリテーション科学部・作業療法学科

点検・評価全学審議会

本調査は北海道医療大学の卒業予定者を対象とし、点検・評価全学審議会が実施するアンケートで、本学の学士課程(学部)教育の改善に役立てることを目的としていますので、率直なご意見をお寄せください。なお、回答結果は大学において厳重に管理し、個人が特定できる形での公表はいたしません。

<リハビリテーション科学部・作業療法学科の教育理念・目的・目標、学位授与の方針について>

リハビリテーション科学部・作業療法学科では以下の教育理念・目的・目標を定め、これらに基づき学位授与の方針を定めています。

○教育理念

本学の教育理念を基本として、最先端の科学的知識を有するリハビリテーション専門職の養成を図る教育を推進する。科学的専門知識の開発および教授に留まらず、保健・医療・福祉の連携と統合を意識した包括的な視点を有する専門職業人としての作業療法士を養成することにより、人々の健康、地域社会ならびに人類の幸福に貢献することをリハビリテーション科学部作業療法学科の教育理念とする。

○教育目的

リハビリテーション科学部作業療法学科の教育理念に沿って、豊かな人間性と確固たる職業倫理観を身につけ、人々の健康と保健・福祉の向上に寄与するとともに、人々が暮らす生活に根差した地域的および国際的視野から医療の向上に貢献できるリハビリテーションのコアスタッフとしての作業療法士の養成を本学科の教育目的とする。

○教育目標

リハビリテーション科学部作業療法学科の教育理念・教育目的に基づいて、以下の教育目標を定める。

1. 作業療法士に求められる幅広い教養、豊かな感性、高い倫理観とコミュニケーション能力の養成
2. 科学的根拠に基づく作業療法科学の専門知識と技術の修得
3. 保健・医療・福祉分野における多職種連携の理解と、作業療法士として主体的に専門技術を提供できる能力の涵養
4. 社会の変化や科学技術の進展に合わせた持続する自己研鑽力の確立
5. 地域社会ならびに国際社会で活躍できる能力の涵養

○学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

リハビリテーション科学部作業療法学科の教育目標に基づき、卒業のために以下の要件を満たすことが求められる。

1. 生命の尊厳と人権の尊重を基本とした幅広い教養、豊かな人間性、高い倫理観と優れたコミュニケーション能力を身につけている。
2. 最新のリハビリテーション科学を理解し、保健・医療・福祉をはじめとするさまざまな分野において科学的根拠を有する専門技術を提供できる能力を身につけている。
3. 作業療法士として必要な科学的知識や技術を備え、心身に障害を有する人、障害の発生が予測される人、さらにはそれらの人々が営む生活に対して、地域包括ケアの視点から適切に対処できる実践的能力を身につけている。
4. 関係職種と連携し、質の高いチーム医療の実践的能力を身につけている。
5. 国際的および地域的視野を有するリハビリテーションの専門家として活躍できる能力を身につけている。
6. 社会の変化や科学技術の進歩に対応できるよう、常に専門領域の検証と、積極的な自己研鑽および作業療法科学の開発を実践できる能力を身につけている。

【問1】「学位授与の方針」に基づく A～J の能力(要件)について、自己評価として最も当てはまるものを選んでください。

基準： 4. 身についた 3. 概ね身についた 2. あまり身につかなかった 1. 身につかなかった

A 生命の尊厳と人権の尊重を基本とした幅広い教養	4	3	2	1
B 豊かな人間性	4	3	2	1
C 高い倫理観	4	3	2	1
D 優れたコミュニケーション能力	4	3	2	1
E 最新のリハビリテーション科学を理解し、保健・医療・福祉をはじめとするさまざまな分野において科学的根拠を有する専門技術を提供できる能力	4	3	2	1
F 作業療法士として必要な科学的知識や技術	4	3	2	1
G 心身に障害を有する人、障害の発生が予測される人、さらにはそれらの人々が営む生活に対して、地域包括ケアの視点から適切に対処できる実践的能力	4	3	2	1

H	関係職種と連携し、質の高いチーム医療の実践的能力	4	3	2	1
I	国際的および地域的視野を有するリハビリテーションの専門家として活躍できる能力	4	3	2	1
J	社会の変化や科学技術の進歩に対応できるよう、常に専門領域の検証と、積極的な自己研鑽および理学療法科学の開発を实践できる能力	4	3	2	1

<授業科目・カリキュラムの満足度について>

【問2】 全学教育科目の授業内容の満足度について、A～Dの項目について4段階で○を付けてください。

基準： 4. 満足 3. 概ね満足 2. やや不満 1. 不満

A	教養教育科目(基礎ゼミナール、人間と思想、人間と文化 等)	4	3	2	1
B	基礎教育科目(外国語、健康・運動科学、情報科学、自然科学 等)	4	3	2	1
C	医療基盤教育科目(個性健康科学、地域連携、医療倫理 等)	4	3	2	1
D	カリキュラム全体	4	3	2	1

【問3】 問2で良かったと思った点や不満に感じた点がありましたらご記入ください。

※4 または 1 を選択の場合、可能であればその理由を記述してください。

【問4】 専門教育科目の授業内容の満足度について、A～D の項目について4段階で○を付けてください。

基準： 4. 満足 3. 概ね満足 2. やや不満 1. 不満

A	リハビリテーション基盤科目(解剖学Ⅰ/リハビリテーション概論 等)	4	3	2	1
B	理学療法又は作業療法専門科目(理学療法概論/作業療法概論 等)	4	3	2	1
C	臨床実習(臨床実習Ⅰ～Ⅴ/総合臨床実習Ⅰ・Ⅱ)	4	3	2	1
D	カリキュラム全体	4	3	2	1

【問5】 問4で良かったと思った点や不満に感じた点がありましたらご記入ください。

※4 または 1 を選択の場合、可能であればその理由を記述してください。

【問6】 あなたの履修した教育プログラムの水準について、全体的印象として該当する番号に○を付けてください。

4. 難しかった 3. やや難しかった 2. やや易しかった 1. 易しかった

【問7】 北海道医療大学で受けた教育のことや大学へ要望することなどがありましたら自由に記入してください。

北海道医療大学の教育に関するアンケート  
リハビリテーション科学部・言語聴覚療法学科

点検・評価全学審議会

本調査は北海道医療大学の卒業予定者を対象とし、点検・評価全学審議会が実施するアンケートで、大学の学士課程(学部)教育の改善に役立てることを目的としていますので、率直なご意見をお寄せください。なお、回答結果は大学において厳重に管理し、個人が特定できる形での公表はいたしません。

<リハビリテーション科学部・言語聴覚療法学科の教育理念・目的・目標、学位授与の方針について>

リハビリテーション科学部・言語聴覚療法学科では以下の教育理念・目的・目標を定め、これらに基づき学位授与の方針を定めています。

○教育理念

本学の教育理念を基本として、最先端の科学的知識を有するリハビリテーション専門職の養成を図る教育を推進する。科学的専門知識の開発および教授に留まらず、保健・医療・福祉の連携と統合を意識した包括的な視点を有する専門職業人としての言語聴覚士を養成することにより、人々の健康、地域社会ならびに人類の幸福に貢献することをリハビリテーション科学部言語聴覚療法学科の教育理念とする。

○教育目的

リハビリテーション科学部言語聴覚療法学科の教育理念に沿って、豊かな人間性と確固たる職業倫理観を身につけ、人々の健康と保健・福祉に寄与するとともに、人々が暮らす生活に根差した地域のおよび国際的視野から医療の向上に貢献できるリハビリテーションのコアスタッフとしての言語聴覚士の養成を本学科の教育目的とする。

○教育目標

リハビリテーション科学部言語聴覚療法学科の教育理念・教育目的に基づいて、以下の教育目標を定める。

1. 言語聴覚士に求められる幅広い教養、豊かな感性、高い倫理観とコミュニケーション能力の養成
2. 科学的根拠に基づく言語聴覚療法学の専門知識と技術の修得
3. 保健・医療・福祉分野における多職種連携の理解と、言語聴覚士として主体的に専門技術を提供できる能力の涵養
4. 社会の変化や科学技術の進展に合わせた持続する自己研鑽力の確立
5. 地域社会ならびに国際社会で活躍できる能力の涵養

○学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

リハビリテーション科学部言語聴覚療法学科の教育目標に基づき、卒業のために以下の要件を満たすことが求められる。

1. 生命の尊厳と人権の尊重を基本とした幅広い教養、豊かな人間性、高い倫理観と優れたコミュニケーション能力を身につけている。
2. 最新のリハビリテーション科学を理解し、保健・医療・福祉をはじめとするさまざまな分野において科学的根拠を有する専門技術を提供できる能力を身につけている。
3. 言語聴覚士として必要な科学的知識や技術を備え、心身に障害を有する人、障害の発生が予測される人、さらにはそれらの人々が営む生活に対して、地域包括ケアの視点から適切に対処できる実践的能力を身につけている。
4. 関係職種と連携し、質の高いチーム医療の実践的能力を身につけている。
5. 国際的および地域の視野を有するリハビリテーションの専門家として活躍できる能力を身につけている。
6. 社会の変化や科学技術の進歩に対応できるよう、常に専門領域の検証と、積極的な自己研鑽および言語聴覚療法学の開発を実践できる能力を身につけている。

【問1】「学位授与の方針」に基づく A～J の能力(要件)について、自己評価として最も当てはまるものを選んでください。

基準： 4. 身についた 3. 概ね身についた 2. あまり身につかなかった 1. 身につかなかった

A 生命の尊厳と人権の尊重を基本とした幅広い教養	4	3	2	1
B 豊かな人間性	4	3	2	1
C 高い倫理観	4	3	2	1
D 優れたコミュニケーション能力	4	3	2	1
E 最新のリハビリテーション科学を理解し、保健・医療・福祉をはじめとするさまざまな分野において科学的根拠を有する専門技術を提供できる能力	4	3	2	1
F 言語聴覚士として必要な科学的知識や技術	4	3	2	1
G 心身に障害を有する人、障害の発生が予測される人、さらにはそれらの人々が営む生活に対して、地域包括ケアの視点から適切に対処できる実践的能力	4	3	2	1
H 関係職種と連携し、質の高いチーム医療の実践的能力	4	3	2	1

I 国際的および地域的視野を有するリハビリテーションの専門家として活躍できる能力	4	3	2	1
J 社会の変化や科学技術の進歩に対応できるよう、常に専門領域の検証と、積極的な自己研鑽および理学療法科学の開発を実践できる能力	4	3	2	1

<授業科目・カリキュラムの満足度について>

【問2】 全学教育科目の授業内容の満足度について、A～Dの項目について4段階で○を付けてください。

基準： 4. 満足 3. 概ね満足 2. やや不満 1. 不満

A 教養教育科目(基礎ゼミナール、人間と思想、人間と文化 等)	4	3	2	1
B 基礎教育科目(外国語、健康・運動科学、情報科学、自然科学 等)	4	3	2	1
C 医療基盤教育科目(個性差健康科学、地域連携、医療倫理 等)	4	3	2	1
D カリキュラム全体	4	3	2	1

【問3】 問2で良かったと思った点や不満に感じた点がありましたらご記入ください。

※4 または 1 を選択の場合、可能であればその理由を記述してください。

【問4】 専門教育科目の授業内容の満足度について、A～E の項目について4段階で○を付けてください。

基準： 4. 満足 3. 概ね満足 2. やや不満 1. 不満

A 言語聴覚学総合教育科目(言語聴覚学総論Ⅰ～Ⅴ 等)	4	3	2	1
B 言語聴覚学基盤教育科目(基礎人間科学/音声言語聴覚医学 等)	4	3	2	1
C 言語聴覚障害学教育(失語症学/成人発声発語障害学 等)	4	3	2	1
D 臨床実習(基礎実習/総合実習)	4	3	2	1
E カリキュラム全体	4	3	2	1

【問5】 問4で良かったと思った点や不満に感じた点がありましたらご記入ください。

※4 または 1 を選択の場合、可能であればその理由を記述してください。

【問6】 あなたの履修した教育プログラムの水準について、全体的印象として該当する番号に○を付けてください。

4. 難しかった 3. やや難しかった 2. やや易しかった 1. 易しかった

【問7】 北海道医療大学で受けた教育のことや大学へ要望することなどがありましたら自由に記入してください。

北海道医療大学の教育に関するアンケート  
医療技術学部・臨床検査学科

点検・評価全学審議会

本調査は北海道医療大学の卒業予定者を対象とし、点検・評価全学審議会が実施するアンケートで、本学の学士課程(学部)教育の改善に役立てることを目的としていますので、率直なご意見をお寄せください。なお、回答結果は大学において厳重に管理し、個人が特定できる形での公表はいたしません。

<医療技術学部・臨床検査学科の教育理念・目的・目標、学位授与の方針について>

医療技術学部・臨床検査学科では以下の教育理念・目的・目標を定め、これらに基づき学位授与の方針を定めています。

○教育理念

本学の教育理念を基本として、最先端の科学的知識を基盤とした臨床検査の専門職の養成を図る教育を推進する。科学的専門知識と技術の開発・教授に留まらず、「考える力」を駆使する課題解決能力に秀でた人材の養成と、また、保健・医療・福祉の連携・統合を意識し、広い視野を備えた専門職業人の養成により、地域・国際社会ならびに人類の健康と幸福に貢献することを医療技術学部臨床検査学科の教育理念とする。

○教育目的

医療技術学部臨床検査学科の教育理念に沿って、最先端の科学的知識を基盤とする専門知識と技術に裏打ちされた課題解決能力を身につけ、確固たる倫理観と専門性に基づいて保健・医療・福祉の分野で社会に貢献できる専門職業人としての臨床検査技師の養成を本学科の教育目的とする。

○教育目標

医療技術学部臨床検査学科の教育理念・教育目的に基づいて、以下の教育目標を定める。

1. 医療人としての豊かな人間性と高い倫理観の涵養
2. 高い専門知識と技術の修得
3. 生涯にわたり自ら研鑽し向上する意欲の涵養
4. チーム医療の一員として協調性を持って職責を果たす能力の修得
5. 問題提起と解決能力の涵養

○学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

医療技術学部臨床検査学科の教育目標に基づき、卒業のために以下の要件を満たすことが求められる。

1. 生命の尊重を基盤とした豊かな人間性、幅広い教養、高い倫理観を身につけている。
2. 臨床検査に必要な知識と技術を修得し、先進・高度化する医療に対応できる実践能力を身につけている。
3. 保健・医療・福祉の各分野の役割を理解し、チーム医療の一員としての自覚とそれを実践するための専門性と協調性を身につけている。
4. 臨床検査のスペシャリストとして、進歩や変化に常に関心を持ち、生涯にわたり自己研鑽する姿勢を身につけている。
5. 多様な文化や価値観を尊重し、地域的・国際的な視野で活躍できる能力を身につけている。
6. 臨床検査学領域における様々な問題や研究課題に対し、解決に向けた情報の適切な分析、科学的思考と的確な判断ができる能力を身につけている。

【問1】「学位授与の方針」に基づく A～I の能力(要件)について、自己評価として最も当てはまるものを選んでください。

基準： 4. 身についた 3. 概ね身についた 2. あまり身につかなかった 1. 身につかなかった

A 生命の尊重を基盤とした豊かな人間性	4	3	2	1
B 幅広い教養	4	3	2	1
C 高い倫理観	4	3	2	1
D 臨床検査に必要な知識と技術	4	3	2	1
E 先進・高度化する医療に対応できる実践能力	4	3	2	1
F 保健・医療・福祉の各分野の役割を理解し、チーム医療の一員としての自覚とそれを実践するための専門性と協調性	4	3	2	1
G 臨床検査のスペシャリストとして、進歩や変化に常に関心を持ち、生涯にわたり自己研鑽する姿勢	4	3	2	1
H 多様な文化や価値観を尊重し、地域的・国際的な視野で活躍できる能力	4	3	2	1
I 臨床検査学領域における様々な問題や研究課題に対し、解決に向けた情報の適切な分析、科学的思考と的確な判断ができる能力	4	3	2	1

<授業科目・カリキュラムの満足度について>

【問2】 全学教育科目の授業内容の満足度について、A～Dの項目について4段階で○を付けてください。

基準： 4. 満足 3. 概ね満足 2. やや不満 1. 不満

A 教養教育科目(基礎ゼミナール、人間と思想、人間と文化 等)	4	3	2	1
B 基礎教育科目(外国語、健康・運動科学、情報科学、自然科学 等)	4	3	2	1
C 医療基盤教育科目(個性健康科学、地域連携、医療倫理 等)	4	3	2	1
D カリキュラム全体	4	3	2	1

【問3】 問2で良かったと思った点や不満に感じた点がありましたらご記入ください。

※4 または 1 を選択の場合、可能であればその理由を記述してください。

【問4】 専門教育科目の授業内容の満足度について、A～E の項目について4段階で○を付けてください。

基準： 4. 満足 3. 概ね満足 2. やや不満 1. 不満

A 基礎科目(解剖学、生理学、生化学、病理学、医学概論等 等)	4	3	2	1
B 専門科目(臨床生理学、臨床病態学、臨床血液学、遺伝子検査学、免疫検査学等 等)	4	3	2	1
C 臨床実習	4	3	2	1
D 卒業研究	4	3	2	1
E カリキュラム全体	4	3	2	1

【問5】 問4で良かったと思った点や不満に感じた点がありましたらご記入ください。

※4 または 1 を選択の場合、可能であればその理由を記述してください。

【問6】 あなたの履修した教育プログラムの水準について、全体的印象として該当する番号に○を付けてください。

4. 難しかった 3. やや難しかった 2. やや易しかった 1. 易しかった

【問7】 北海道医療大学で受けた教育のことや大学へ要望することなどがありましたら自由に記入してください。



## 北海道医療大学大学院の教育に関するアンケート

本調査は、北海道医療大学大学院の修了予定者を対象として点検・評価全学審議会が実施するアンケートで、大学院教育の改善に役立てることを目的としていますので、率直なご意見をお寄せください。回答結果は、大学において厳重に管理し、個人が特定できる形での公表はいたしません。

【設問は問1～問8まであります】

問1 あなたが修了する課程から、所属する研究科（専攻のある研究科は専攻別）に○を付けてください。

**修士・博士前期課程**・・・研究科を選択後、問2-1へ進んでください

- 1 看護福祉学研究科 **看護学** 専攻      2 看護福祉学研究科 **臨床福祉学** 専攻  
3 心理科学研究科      4 リハビリテーション科学研究科 リハビリテーション科学専攻

**博士・博士後期課程**・・・研究科を選択後、問2-2へ進んでください

- 1 薬学研究科      2 歯学研究科      3 看護福祉学研究科 **看護学** 専攻      4 看護福祉学研究科 **臨床福祉学** 専攻  
5 心理科学研究科      6 リハビリテーション科学研究科 リハビリテーション科学専攻

問2 在学中、「大学院課程教育において修得すべき知識・能力」がどの程度身についたと思いますか。以下のことについて、該当する課程にそれぞれ4段階で○を付けてください。

基準：4. 身についた      3. 概ね身についた      2. あまり身につかなかった      1. 身につかなかった

問2-1 **修士・博士前期課程を修了される方**にお尋ねします。

A	問題発見能力および解決能力	4	3	2	1
B	高度専門職能の基礎となる学識	4	3	2	1
C	チーム医療への対応	4	3	2	1
D	社会に貢献できる能力	4	3	2	1
E	コミュニケーション能力	4	3	2	1
F	国際的な視野	4	3	2	1
G	高い倫理観	4	3	2	1
H	自己研鑽能力	4	3	2	1

問2-2 **博士・博士後期課程を修了される方**にお尋ねします。

A	研究計画能力と研究実践能力	4	3	2	1
B	研究競争力と問題処理能力	4	3	2	1
C	高度専門知識	4	3	2	1
D	コミュニケーション能力	4	3	2	1
E	国際的な視野と行動力	4	3	2	1
F	責任性と高い倫理観	4	3	2	1
G	知的技術者（実践技術者）能力	4	3	2	1
H	指導者の能力	4	3	2	1
I	自己研鑽能力	4	3	2	1
J	論文作成能力	4	3	2	1

●裏面へ続きます。

**問3** 上記問2以外に身についたと思う成果を記載してください。

**問4** あなたの所属している研究科、専攻等の教育プログラム全体の達成度について、該当する番号に○を付けてください。

4. 達成した      3. 概ね達成した      2. あまり達成しなかった      1. 達成しなかった

**問5** あなたの所属している研究科、専攻等の教育プログラム全体について、良かったと思う点や不満に感じた点がありましたら記載してください。

**問6** あなたの修了後の進路選択に関し、所属している研究科、専攻等の教育プログラムの有用度について、該当する番号に○を付けてください。

4. 有用であった      3. 概ね有用であった      2. あまり有用でなかった      1. 有用でなかった

**問7** あなたの履修した教育プログラムの水準について、全体的印象として該当する番号に○を付けてください。

4. 難しかった      3. やや難しかった      2. やや易しかった      1. 易しかった

**問8** 北海道医療大学で受けた教育のことや大学へ要望することなどありましたら自由に記載してください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。